



日本へ来たてのワタシ

newsletter



20. TRINH MINH DUC

留学生



今回お話を伺ったのは、学生の
Trinh Minh Duc さんです。Ducさん
は 2025年4月に訪日し、関西地方
で半年間、アルバイトをしながら日
本語を勉強しています。訪日前に
はベトナムで日本語を学び、日本で
の生活に向けてしっかり準備をして
きました。





日本に到着したとき



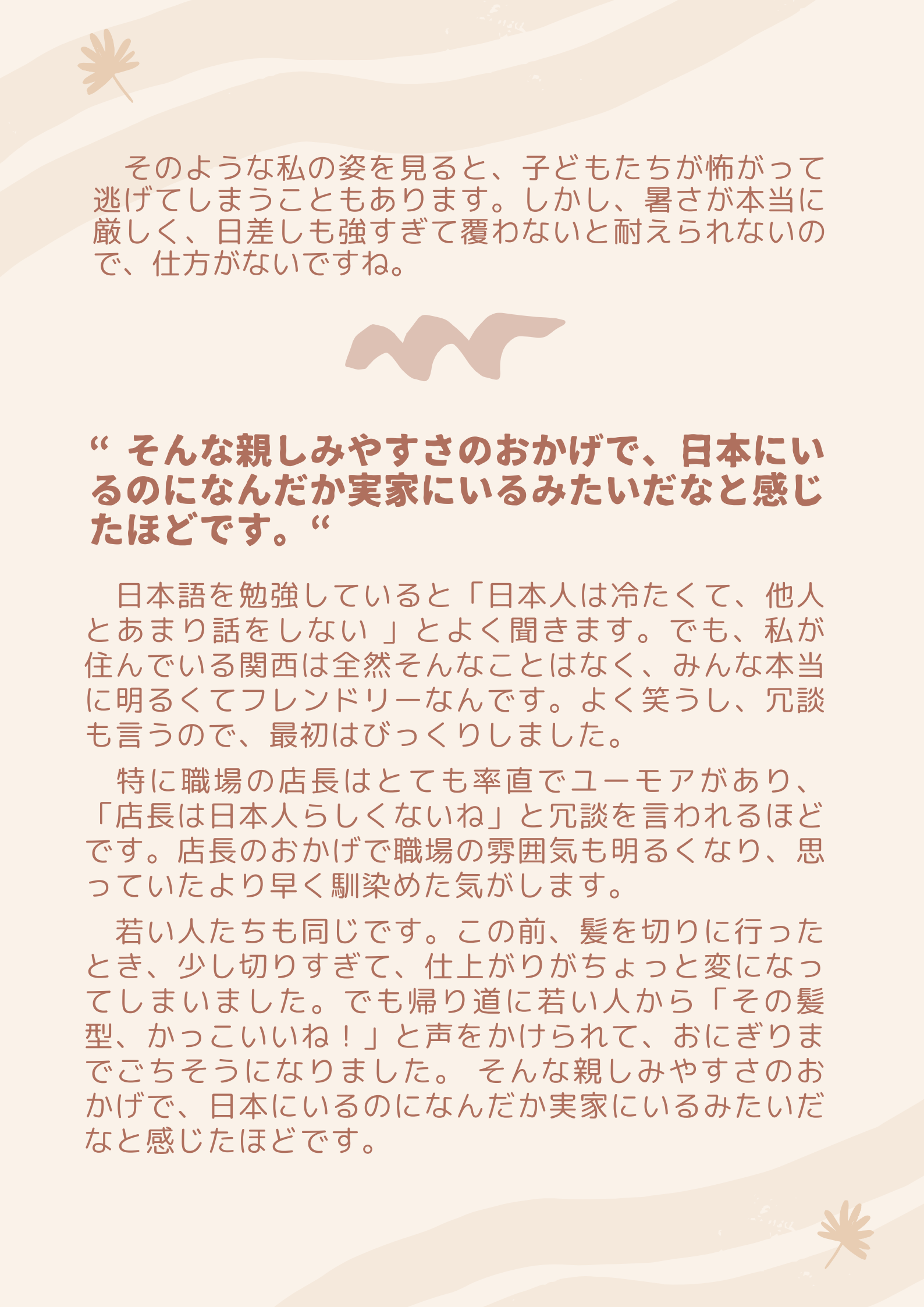
空港に着いて、まず寒いことにショックを受けました。ベトナムはとても暑かったのに、日本がこんなに寒いとは知りませんでした。冷空気が一気に押し寄せてきて、本当に驚きました。

日本の夏

夏には、日本の暑さに驚かされました。私の住んでいる地域は山に囲まれていて、熱がこもりやすい地形なので、さらに暑く感じます。

ベトナムでは、夏になると、日焼け対策で顔以外をすべて覆うのが普通です。でも日本ではそういう格好をする人がほとんどいないので、外を歩いていると、かなり怪しく見えるのか、警察に十数回も声をかけられました。何度もあったので慣れてしまい、警察の人と出くわして、向こうが一瞬固まると、先に立ち止まって身分証明書を出すようになりました。「そんなに声をかけられるんですか。反応が早すぎますね！」と笑われたこともあります。





そのような私の姿を見ると、子どもたちが怖がって逃げてしまうこともあります。しかし、暑さが本当に厳しく、日差しも強すぎて覆わないと耐えられないので、仕方がないですね。



“ そんな親しみやすさのおかげで、日本にいるのになんだか実家にいるみたいだなと感じたほどです。 ”

日本語を勉強していると「日本人は冷たくて、他人とあまり話をしない」とよく聞きます。でも、私が住んでいる関西は全然そんなことはなく、みんな本当に明るくてフレンドリーなんです。よく笑うし、冗談も言うので、最初はびっくりしました。

特に職場の店長はとても率直でユーモアがあり、「店長は日本人らしくないね」と冗談を言われるほどです。店長のおかげで職場の雰囲気も明るくなり、思っていたより早く馴染めた気がします。

若い人たちも同じです。この前、髪を切りに行ったとき、少し切りすぎて、仕上がりがちょっと変になってしまいました。でも帰り道に若い人から「その髪型、かっこいいね！」と声をかけられて、おにぎりまでごちそうになりました。 そんな親しみやすさのおかげで、日本にいるのになんだか実家にいるみたいだなと感じたほどです。



日本語習得の難しさ



ベトナムで日本語を勉強してきたとはいえ、日本に来てからはやっぱり会話で苦労することが多いです。

ある日、職場で店長が日本人の同僚にシャツをあげたんですが、サイズが合わなかった ので、店長が私に向かって「要るか？」と聞きました。私はそれを「海豚（イルカ）」だと勘違いして、「え、このシャツ、イルカの柄なんですか？かわいいですね」と言ってしまいました。店長は全然意味が分からない顔をして、「欲しい？」と言い直してくれたのですが、今度は「星（ほし）」を思い浮かべてしまって、「え、星の模様なんですか？」とまたずれた返事をしてしまいました。結局意味が通じず、店長も説明するのを諦めてしまいました。家に帰ってからやっと理解できて、本当に恥ずかしかったです。





別の日には、電車がトラブルで遅れていたもので、クラスのグループチャットに「電車が遅刻したので、遅れてもいいですか？」と先生に連絡しました。でも、教室に着いたら先生に呼ばれて、「その言い方は電車には使わないよ。「遅刻」は人に対して使う言葉で、電車の場合は「遅延した」や「遅れた」を使うんだよ。」と優しく教えてくれました。それを聞いて、クラスの20人以上がいるグループに書いてしまったことを思い出して、とても恥ずかしくなりました。

しかし、この経験を通して、日本語では適切な語彙を使うことが重要であることを実感しました。以前の私は、まずベトナム語で考えてからそのまま日本語に訳する癖があり、頭の中では自然に思えても、日本語としては不適切になることが多かったです。また、周囲の人は、私が気まづくならないよう配慮しているのか、あるいは大した誤りではないと判断しているのか、私の間違いを指摘してくれることはほとんどありませんでした。

やはり外国語を勉強するのは簡単ではありません。学ばべき範囲が膨大で、間違いを重ねながら少しずつ前に進んでいくことが大事だと思います。そのときの経験は、私にとって日本語学習の過程で得られた貴重な学びであると感じています。



これから日本に行く方へ

訪日前に通っていたセンターの先生方が日本の文化・習慣・ルール・働き方までとても丁寧に教えてくれました。さらに、平たいタイプのコンセント、機内に持ち込める物、薬やお土産など、細かなことまで詳しく教えてくれました。



私が大切と感じているのは、健康管理、日本語力、そして強い学習の意欲です。日本での生活がバラ色になるか灰色になるかは、事前の準備と心の持ち方次第だと思います。

A stylized, handwritten signature in brown ink, consisting of several loops and a long, sweeping tail.

あなたへのヒント *

生活の日本語を勉強できるサイト

①IRODORI Japanese Online Course

<https://www.irodori-online.jp/jp.go.jp/>

日本の生活場面で必要となる日本語を学べるサイトです。動画やイラスト、音声などが充実しており、ベトナム語解説もあるので一人でも飽きずに勉強できます。

レベル：A1～A2

②ひきだすにほんご Activate Your Japanese !

<https://www.hikidasu.jp/jp.go.jp/>

実践的な日本語コミュニケーション力をアップさせるための多くのヒントを学ぶことができる映像教材です。映像はドラマ仕立てになっているので、楽しみながら学習できます。

レベル：A2～B1



日本へ来たてのフタジ

